

自己評価報告書

平成 22 年 5 月 19 日現在

機関番号：34315

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20401016

研究課題名(和文) 大英博物館蔵日本版画・浮世絵の総合カタログ

研究課題名(英文) Comprehensive Cataloging on the Japanese Woodblock Prints in the British Museum

研究代表者

赤間 亮(AKAMA RYO)

立命館大学・文学部・教授

研究者番号：70212412

研究分野：美術史・近世文学

科研費の分科・細目：芸術学・芸術史・芸術一般

キーワード：浮世絵、デジタルアーカイブ、役者、武者、歴史画、摺物、写楽、絵本

1. 研究計画の概要

2008年度から2011年度の間、夏期、春期に英国大英博物館を訪問し、デジタル撮影・調査を行なう。デジタル画像化された浮世絵資料を日本に持帰り、デジタル処理。開発済みのカタログ作業用データベース上で、メタデータと解説データ付与を行ない、詳細な分析を実現する。この作業にあたっては、欧州、米国の所蔵機関への調査が適宜必要であり、他機関への調査をも踏まえたデータ入力ならびにデータ確認作業を行い、カタログデータを蓄積していく。

最終年度、研究の進捗や新発見についての研究発表を行い、関連のジャーナルにおいて発表し、全体のカatalog情報を公表する。作業と同時に大英博物館の所蔵資料データベースへと掲載され、Portalデータベースから画像を含めた検索を可能とする。これにより、これまで誰も達成していない大英博物館浮世絵総合カタログが完成する。

2. 研究の進捗状況

(1) 2010年度までの調査・撮影により、浮世絵については、本研究の計画段階以降に大量に寄贈された歌川国芳3000枚をも含めて、すべてデジタル化が完了した。

(2) 書籍形態の資料のなかにも浮世絵が大量に含まれていることが判明し、これもアルバム形態のものについては作業を完了しており、袋綴形態のものに取掛っている。

(3) また、予想以上に幕末期の資料が多く、中期、後期の関連資料の調査が必要となり、欧米関連コレクションの調査は、当初計画して箇所以外に、チェコ国立博物館、国立美術館、ヴェネチア東洋美術館などの後期作品を

中心とするコレクションの調査を実施して、内容の充実を図った。

(4) デジタル画像は、大英博物館のIT部門と綿密な打合せの上、譲渡され、博物館の収蔵品閲覧データベースに逐次掲載されている。ここでは、かつて図録等で紹介された英文の解説が再録されており、英語バージョンのカタログが進んでいる。

(5) 日本語バージョンのカタログデータは、現在、基本となるメタデータの入力が、16000枚程度まで進み、2011年度前期までで基本カタログは完成する。これを元に、解説データをできる限り充実して、2011年度末でのカタログ公開へと繋げる。

(6) 研究期間中に対象作品の内、春画・春本については、大英博物館、ロンドン大学SOASとの共同研究に発展し、この分野において、シンポジウムとワークショップが開催され、対象作品に関連して研究代表者もすでに2回の発表を行った。このプロジェクトは、2013年度の大英博物館において大規模な展覧会を実現するものであるが、本研究課題によって、アーカイブされたデジタル画像とカタログデータが活用されている。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進捗している。

計画していたデジタル画像の作成については、予想していた以上の作品数を対象としなければならなかったが、順調に作業が進み、2010年度までにすべての浮世絵版画について撮影が完了できた。メタデータの作成も、予定通りであり、2011年度の前期に完了することができる。しかしながら、予想より後期の作品の数が多く、これらを含めた的確な力

タロギングが最終年度に達成できるかどうか、まだ曖昧なところを残しているため、上記の評価とした。

なお、当初カタログデータは、紙媒体での公表を予定していたが、大英博物館側で公開している英語によるイメージデータベースとリンクすることで、Web上のオンラインカタログが実現できる見通しが立った。

4. 今後の研究の推進方策

引続き、夏・春の調査を実施するが、すでに基本データが出来上がっており、2011年度後半期からは、国際浮世絵学会、アート・ドキュメンテーション学会などので発表に努める。また、現在運用中の浮世絵データベースに関しては、ポータルデータベース機能を追加して、Web上のオンラインカタログを実現させる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計2件)

赤間亮, 春画が教える江戸歌舞伎のホント, 芸術新潮, 2010.12, pp.38-42, 査読無
赤間亮, 金子貴昭, 浮世絵デジタルアーカイブの現在, 情報処理学会研究報告 2008-CH-78 人文科学とコンピュータ, 2008-48, 2008, pp.37-44, 査読有

〔学会発表〕(計3件)

Ryo Akama, Donatella Failla, The Digitization of Ukiyo-e at the Chiossone Museum and Some Remarkable Prints in Light of a New Stage in Ukiyo-e Studies, EUROPEAN ASSOCIATION OF JAPANESE RESOURCE SPECIALISTS (EAJRS), 2010.9.2, Museo d'Arte Orientale Edoardo Chiossone
Ryo Akama, Archiving of Japanese Cultural Heritage in the world, Digital Humanities 2010, 2010.7.10, King's College, London University
Ryo Akama, A challenge of digital archiving for Japanese art collections in Europe by a method of ARC, European Association for Japanese Resource Studies, 2009.9.17, Sainsbury Institute for Japanese and Culture (UK)

〔図書〕(計1件)

赤間 亮, 富田美香, イメージデータベースと日本文化研究, ナカニシヤ出版, 2010, p.276